

安保法 続く批判

きょう 成立1カ月

集団的自衛権行使を可能とし、戦後の安全保障政策を大きく転換した安全保障関連法の成立から19日で1カ月を迎えた。「安保法は憲法違反」とする野党の批判はやまず、18日には市民団体の抗議集会が開かれた。政府、与党は論戦の舞台となる秋の臨時国会召集を見送る方向で調整して

え、国内外での説明にも取り組む。中谷元・防衛相は今日20日に韓国を訪問し、韓民求国防相に安保法への理解を求めると考えだ。国民に向けた政府広報も拡充を図る。

臨時国会の見送り方針について、政府、与党は安倍晋三首相の外国訪問日程が立て込むことを理由としている。

おり、追及を回避する姿勢が顕著だ。野党側は、来夏の参院選を見据えた共闘を模索している。(27面に関連記事)

政府は来年3月までの施行に向け、自衛隊が武器使用できる状況や手順を定めた部隊行動基準(ROE)の改定作業などを本格化させている。安保法への根強い反発を踏ま